

「経営情報イノベーション研究」巻頭言

経営情報イノベーション研究科長
池田哲夫

このたび、『経営情報イノベーション研究』の第6号を発刊することができました。

近年、政府が観光立国の実現を掲げる中、観光産業の高度化やそのための人材育成が急務となっています。この認識のもと、経営情報学部では、平成31年度から学部に観光教育課程を設置する方向で検討を進めています。

観光教育課程の設置に伴い、研究科においては観光に関する学問（観光学と呼びます）の活性化が望まれています。観光学の大きな特徴は、多様な研究課題を有する学際的学問であるということです。観光学の研究課題の例としては、観光産業の経営の研究、観光を促進する政策の研究、ITを用いた観光活性化方法の研究、観光を中心としたまちづくりの研究などがあり、観光学は経営分野、公共政策分野、情報分野のいずれかの分野からもアプローチ可能な学問分野であることが分かります。

来年度以降、観光学研究の活性化と、本紀要への観光関連の論文の投稿を期待したいと考えます。

『経営情報イノベーション研究』の発刊のねらいの一つは、博士後期課程の学生に査読論文発表の場を提供することにあります。第5号までに7名の博士後期課程学生が本紀要に査読論文を発表し、さらに、本紀要掲載の論文をベースとして学位論文を執筆し学位取得にいたった学生が既に5名います。

第6号でも、2名の博士後期課程学生による、日本経営の特徴・課題に関する査読論文が掲載されます。

今後も、博士後期課程学生の一層の投稿を期待したいと考えます。